

なすの三線の会

2月17日(金)「なすの三線の会」が青木三区の生きがいサロンを賑わせました。三線(三味線)による沖縄音楽の唄と演奏でイベントなどでも活躍しています。会員数は13名でこの日は3名のメンバーが沖縄の風を吹かせました。

「耳に覚えがあれば一緒に」と参加者全員に会が作成した歌詞集を配布し「花」や「涙そうそう」など知っている曲を口ずさんだり、鼻歌を唄ったりしました。

演奏曲は10曲でした。とても寒い日でしたがサロンの中に真っ赤な太陽とキラキラした青い海が見えたような・・・気分でした。会場が温まってきたころ「赤田首里殿内(あかたすんどんち)」という沖縄の童謡で手遊び歌をメンバーが見本を見せて全員で大きく体を動かしました。「♪シーヤープ(ほっぺ)・ミーミンメ(耳)・ヒージント(肘)・イーユヌミ(鳥の目)」と掛け声をかけながら自身の頬を触ったり、耳を引っ張ったりする動きが全員を笑顔にしました。

最後は沖縄では演奏会のクライマックスとして行われる「カチャーシー」という頭上で手首を回しながら左右に振る踊りをして終了となりました。会場からは「またお願いしたい!」と大盛況の一日でした。

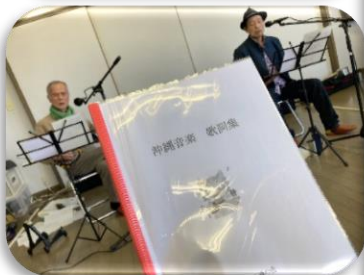
三線の音は心に優しく響き渡るような柔らかい音色でした♪♪♪



三線の胴の材料
は何か?
答えは↓



▼なすの三線の会



▲みんなで「カチャーシー」



記念撮影のかけごえは「はい、シーサー!」



答えは「ニシキヘビ」でした

那須塩原市社会福祉協議会



ボランティアセンター

令和5年2月作成